

飯塚市

歩行ロボットのプログラミング 九工大で小中学生が挑戦



パソコンにロボットの歩行プログラムを打ち込む児童たち

九州工業大情報工学部(飯塚市)は16日、小中学生を対象にした無料の科学教室「はじめての歩くロボットプログラミング」を開いた。市内外から小中学生12人が参加。思い通りの歩き方を目指して、プログラムの打ち込みに挑戦した。科学の楽しさを知っても

らおうと年に数回教室を開催している。ロボットは、パソコンに打ち込んだ動作の命令が無線で送られ、動きだす仕組み。参加者は、米国で初心者向けに開発されたプログラミング言語「Scratch(スクラッチ)」を使い、「直立」「体を傾げる」「左足を出

す」などと単純な動作をパソコンに入力した。動作の順序や関節を曲げる角度を微調整すると、真つすぐに歩き出すロボットも。ロボットに取り付けた発光ダイオード(LED)をスイッチで光らせるプログラミングも試みた。飯塚市立伊岐須小6年の

稲冨結月さん(11)は「自分のロボットは動くけど、前に進んでいるのか分からない」と苦笑いしていた。(山本諒)